

インドネシア

ワイラレム灌漑事業(1)~(4)



本事業により建設された灌漑水路

[借款概要]

承諾額/実行額	22,260百万円 / 20,107百万円
借款契約調印	1979年3月 ~ 1991年9月
借款契約条件	金利2.5 ~ 3.0%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1984年9月 ~ 1997年10月

[事業概要]

スマトラ島ランポン州において、ダム及び水路等の灌漑施設を建設し、米を中心とする食糧増産と農民の生活向上に寄与するもの。

[評価結果]

本事業(第1期~第3期)は全体工期が約12年に及ぶ大規模灌漑計画であり、ダム、灌漑施設(幹線・2~3次水路網)が1983~91年にかけて完成し、その後施設の修復とアップグレードのための工事(第4期)が1996年に完成し現在に至っている。

末端の灌漑施設の建設と水田の整備は農民の参加により行われ、水田は1984年の800haから97年の20,180haまで拡大された。米の収量は順調に増加し(90年3トン/ha~99年4.5トン/ha)、農民インタビュー調査によれば、農家収入は1982年から2000年にかけて2.1倍、貯蓄は1.6倍に増加し農民の生活水準の向上に貢献した。

他方、米の作付面積は1993年以降計画を下回る水準で推移しており、第4期の修復後も十分には回復していない。この要因としては、灌漑施設における水門管理等が困難なため、灌漑水が届かない地域が生じたことが挙げられている。

なお、維持管理のための人材・予算の確保、水利組合の能力向上等の課題に対処するため、現在、水資源セクターへの円借款事業の一環として技術支援等が行われている。